

令和6年 新年のご挨拶

鹿児島市歯科医師会 会長 平田 哲也



新年あけましておめでとうございます。

鹿児島市医師会の先生方には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は鹿児島市医師会の先生方には、市歯科医師会の会員がいろいろとお世話になりましたことを心より御礼申し上げます。

令和2年1月から令和5年の5月まで新型コロナウイルスに振り回された3年数か月でした。コロナが5類になりましたが、無くなったわけではありません。インフルエンザも流行しているようです。年が明けて新年会などで人と接する機会が増えていきます。まだまだ、感染予防に気をつけていかなければと思います。

鹿児島市歯科医師会もコロナが5類に変わってから、少しずつではありますが、コロナ前の状況に戻りつつあります。研修会や学会などはまだハイブリッド形式をとっておりますが、これからもこの形式で行っていきたいと考えています。

昨年は、鹿児島で国体も無事行われ、大きな災害にも見舞われなかったかと思います。ただ、日本全国をみますと猛暑や豪雨などで被害を受けたところもあります。自然がおかしくなっているかもしれません。

社会情勢をみますと、ウクライナだけでなく中東でも戦争が始まりました。これから世界中でいろんな問題が起こるかもしれません。私たち歯科医師会も日々の診療で金パラの価格はいまだに高騰しており、歯科材料や薬の不足、価格高騰が起こり、ますます経営に影響を及ぼしていくのではと危惧されます。働き方改革も始まりスタッフの待遇も考

えなくてはいけないかもしれません。乗り越えていきたいと思えます。

最後に、今年こそは社会情勢が落ち着き、自然災害もなく物価高に苦しませられないことを希望し、先生方にとって素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして新年のあいさついたします。